

TOSS ランド > 教師ランド > 教科 > 国語 > 中学校 > 中 1

>>> TOSS ランド No. 未登録

## 少年の日の思い出

>>> TOSS 福井 村上睦

### 概要

中 1 光村『少年の日の思い出』。意見の分かれる発問で討論を仕組む。書くことを重点においた指導。( TOSS 福井 推薦 )

## 少年の日の思い出 ( 1 )

>>> TOSS 福井 村上睦

### 概要

音読練習 & テスト。

### 音読練習

座ったまま 1 回読みなさい。読めない字は辞書を引くか、先生に聞きなさい。

### 読んでいる間に板書

読み終わったら、題名の横に丸を 10 個書く。

1 つ塗って先生に見せる。

ワーク P ~ P をやっておく。

見せにきたら丸をつける。

全員終わったら次の指示。

### 音読テスト

音読テストをします。評価基準は次の通りです。

### 板書

大きさ  
速さ  
正確さ

総合的に判断して、A B C で評価します。B は合格。A はとっても上手。C はもうちょっとがんばれ。

出席順にいきます。4行～5行ぐらいずつ読んでもらいます。ストップと言うまで読みなさい。

出席順に立たせて読ませ、評価していく。

AとBが半々ぐらい、Cが数名という感じである。

BとCの人も、今度また挑戦できます。家で音読練習をしておきなさい。

## 少年の日の思い出（2）

>>> T O S S 福井 村上睦

### 概要

1つ目の発問「"僕"はちょうが好きなのか」。意見の書き方を教えて書かせる。

### 音読再テスト

前回、BかCだった人は再挑戦できます。やりたい人は立ちなさい。

再挑戦で評定が上がれば、それを成績に反映する。

### 作品の構造

1行目に「客は」とあります。指で押さえなさい。

この「客」とは、少年時代の思い出話の中で言うと誰ですか。

「僕」であることを確認する。

つまり、この物語はこのような構造になっています。

### 板書

現在（大人）

過去（少年時代）

そして、最後にまた「過去」の話から「現在」の場面に戻っているのですか？

「戻っていない」ことを確認する。

### 板書

現在（大人）

過去（少年時代）

×現在（大人）

このような構造が『大造じいさんとがん』と同じであることを簡単に説明する。  
また、『わらぐつの中の神様』は、最後に「現在」に戻ってくることも確認する。

## 主発問

「僕」はちょうが好きなのですか。好きではないのですか。

ノートに意見を書かせる。

## 板書

「僕」はちょうが好きだと言える。 / 言えない。  
なぜなら、P 156 L 15 に「……………」と書いてある。  
これは……………」

まず、自分の立場を決めて書きます。次に、その根拠を引用して書きます。そして、その部分について自分の意見・解釈を書きます。

「もう1年生も終わりですから、10行以上は書いてほしいなあ」

「長く、くわしく、しつこく書くのです」

「良い意見は、長い意見です」

などと声かけをしながら、時間いっぱい書かせる。

## 少年の日の思い出(3)

>>> T O S S 福井 村上睦

### 概要

意見発表。友だちの意見をノートにメモしながら聞かせる。

「僕」ちょうが好きなのか、そうでないのかについて、意見を発表してもらいます。

机を教室の内側に向けなさい。

友だちの発表を、ノートにメモしながら聞きなさい。

指名なし発表を開始する。

最初の1人が発表し終わったら、すかさず「今の意見、メモした人？」と確認する。

手を挙げた生徒をほめる。

2人目が発表し終わったら、メモの仕方の例を教える。

### 板書

P 156 L 15 心を打ち込んだ

今の君は、「僕」はちょうが好きだという意見でした。だから を書きます。根拠としてP 156・L 15の「ひどく心を打ち込んでしまい」という部分を挙げていました。それも分かるように、キーワードでメモしておきます。

あとで、どんな意見が出たのかをまとめて書いてもらいます。しっかりメモしておきなさい。

あとは、3～5人目ぐらいまで、メモの例を黙って板書していく。  
発表が終わったら、

今日の発表を聞いて、どんな意見が出たかを文章にまとめて書いてきなさい。友だちの意見に対して、疑問や反論や賛成意見などがあったら、それも書いておきます。

## 少年の日の思い出（４）

>>> T O S S 福井 村上睦

### 概要

主発問「エーメールはちょうが好きなのか」。ノートに意見を書かせる。

今日は「エーメールはちょうが好きなのか」ということを考えます。

P 159・L 1の「あるとき」から最後まで読みます。全員起立。読み終わったら座ります。

エーメールはちょうが好きなのか、そうではないのか。ノートに意見を書きなさい。

### 板書

エーメールはちょうが好きだと言える。 / 言えない。  
(引用)  
(意見・解釈)

書き方は前と同じです。立場を決めて、根拠を引用して、それについての解釈を書きます。

「意見を長く書くには、次のような言葉をうまく使うと良いです」と言って板書する。

つまり...  
...ということは  
たしかに...しかし...  
もし...なら...  
たとえば...  
なぜなら...  
あるいは...

時間いっぱい書かせる。

## 少年の日の思い出（５）

>>> T O S S 福井 村上睦

### 概要

意見発表。友だちの意見をノートにメモしながら聞かせる。

エーメールはちょうが好きなのか、そうでないのかについて、意見を発表してもらいます。

机を教室の内側に向けなさい。

友だちの発表を、ノートにメモしながら聞きなさい。

指名なし発表。

前回同様、メモしているかどうかを時々確認する。

終わったら、

今日、出た意見をまとめておきなさい。それに対する自分の意見も書いておきなさい。

## 少年の日の思い出（６）

>>> T O S S 福井 村上睦

概要

主発問「『僕』は自分の行為を悪いと思っているのか」。意見をノートに書く。

今日は「『僕』は自分の行為を悪いと思っているのか」ということを考えます。それを頭の中において、１回通して読みなさい。目標は１０分です。全員起立。

早い生徒で約１０分。

１２～１３分でほぼ全員が読み終わる。

時間差が大きくなるので、数名が残っている時点で終了する。

「自分の行為」というのは、「僕」がエーメールの部屋を訪ねて行ってから、部屋を出るまでの行動のことです。

「エーメールがこの不思議なちょうをもっているということを聞くと...」～「...僕はどんな持ち物でも楽しみでも、喜んで投げ出したろう。」までである。

問題をノートに書いたら、意見を書きなさい。

板書

「僕」は自分の行為を悪いと思っている。／思っていない。  
なぜなら、P L に「.....」と書いてある。  
これは.....

時間いっぱい、意見を書かせる。

## 少年の日の思い出（７）

>>> T O S S福井 村上睦

#### 概要

討論をする。

「『僕』は自分の行為を悪いと思っているのか」という問題について討論をします。机を内側に向けなさい。

挙手で人数を確認する。

「悪いと思っている」が大多数。

「悪いと思っていない」が数名。

友だちの発表を聞きながら、意見をメモしていきなさい。メモしながら、質問や反論、賛成意見を思いついたら、その場で言ってもいいです。

討論を始める。

#### 補足

あるクラスでは、全員が「悪いと思っている」という意見であった。そこで「先生が相手になります」と宣言し、まず生徒に意見を発表させた。発表が途切れたところで、「もうありませんか？ 反論してもいいですか？」と念を押し、「悪くないと思っている」という意見を述べた。そして「今の先生の意見に対して反論を書きなさい」と指示した。「反論できないということは、認めたということですね？」などと言ってあおると、6～7名が反論を述べた。どれも「良い意見です」とほめた。

残り10分ほどで討論を終了し、

今、メモした意見を文章で記録しておきなさい。それに対して思いついたことがあったら、それも書いておきなさい。

続きは宿題にする。

## 少年の日の思い出（8）

>>> T O S S福井 村上睦

#### 概要

主発問「『僕』にとってちょうは何を象徴しているのか」。「象徴」についての説明をしてから意見を書かせる。

「象徴」について

「象徴」と板書。

ノートに書きなさい。

書けたら辞書を調べなさい。

見つかったら、みんなに聞こえるように意味を言います。

数名に意味を発表させる。

つまり、象徴とはこういうことですね。

板書

象徴 = 形のない考えや感情を、具体的な物で表すこと。

ハトは平和の象徴であることや、日の丸の旗を燃やすことなどを例に説明する。

それをふまえて、今日は「『僕』にとってちょうは何を象徴しているのか」という問題を考えます。

これまで同様にノートに意見を書かせる。

大半の生徒が悩んでいた。

7～8分後、書けた生徒に「何の象徴か」を発表させた。

- ・ 幼年時代の思い出
- ・ 熱情
- ・ 努力
- ・ 「僕」の気持ち

などが出た。

これらを参考に書きなさい。

教師の考えとして「子どもだけに許された世界」という意見を紹介した。

残り10分で、

全員起立。書けたところまででいいので、発表します。

座った生徒は続きを書くように指示する。

時間いっぱい終了。続きは宿題にする。

## 少年の日の思い出（9）

>>> T O S S 福井 村上睦

概要

評論文の清書。ノートに書きためてきた意見を原稿用紙に清書する。

プリントを配る。

原稿用紙に見本を書いたものである。

『少年の日の思い出』評論文  
一年組

目次

「僕」はちょうが好きなのか。  
エーメールはちょうが好きなのか。  
「僕」は自分の行為を悪いと思っているのか。  
「僕」にとってちょうは何を象徴しているのか。  
感想

「僕」はちょうが好きなのか。( 枠囲み)  
まず、「僕」はちょうが好きなのか、という問題について考える。  
私は.....

見本を元に、書き方を説明する。

- ・見出しは枠で囲むこと。
- ・1枚ごとに番号を打つこと。
- ・適度に改行すること。(1枚に3～4回が目安。)
- ・引用は「 」でくくること。P L を明記すること。
- ・引用は省略せず、正確に書くこと。
- ・濃い字で丁寧に書くこと。

「要するに、読む人のことを考えて、読みやすいように書くのです」と言って、今までノートに書きためてきた意見を清書させていく。

質問を受け付けながら、時間いっぱい書かせる。

続きは家で進めていくこと、締め切りは1週間後、原稿用紙は教室に置いておくので各自で必要な分を持っていくことを伝えて終了。

授業は2クラスで行い、どちらも1人平均8枚以上書けた。

最も多い生徒が18枚、最も少ない生徒が5枚であった。

2クラス分の評論文